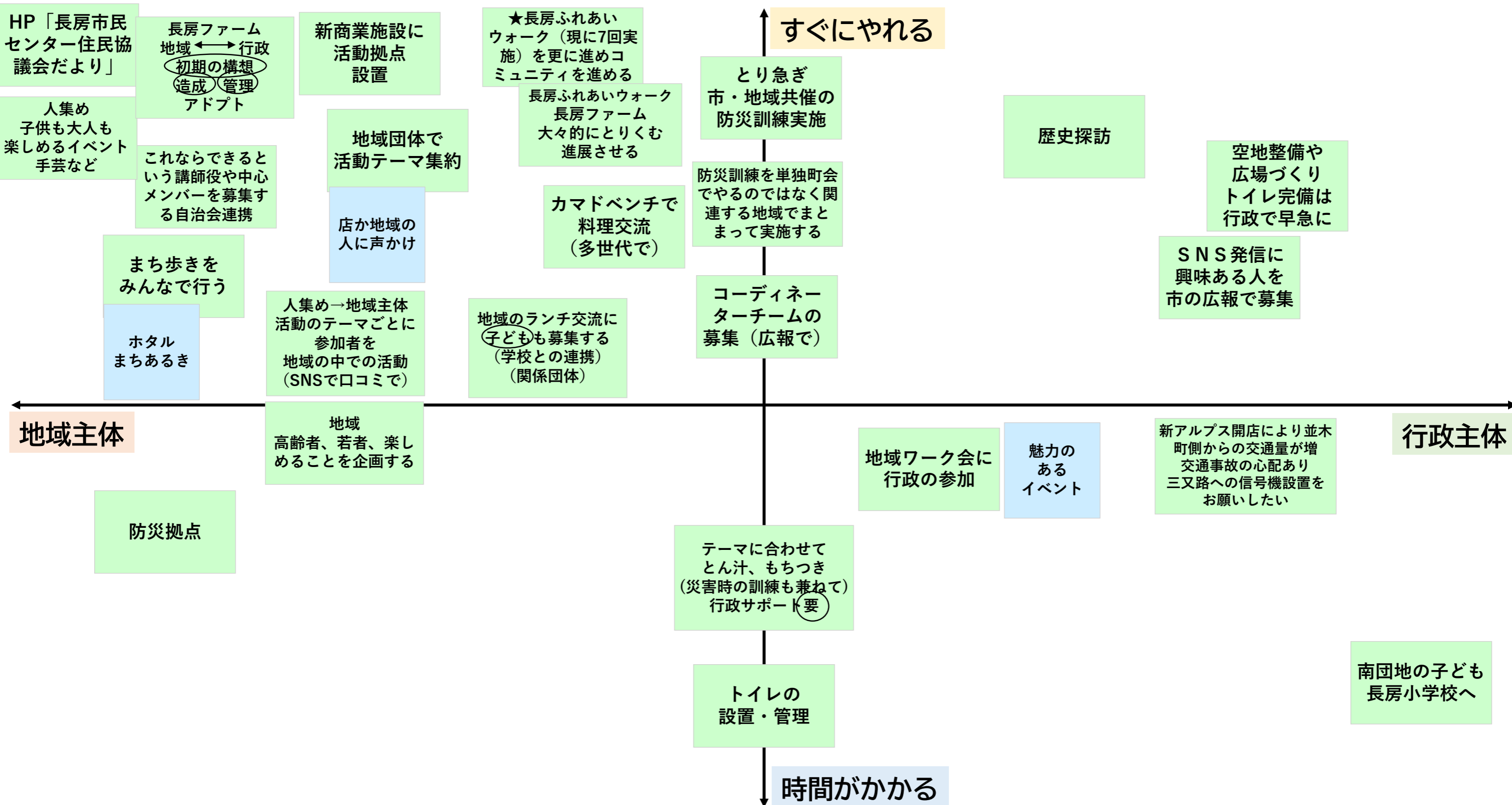


ありたい姿

安心して多文化・多世代のつながりがある町 長房

想い

・色々な世代の人たちが集まれる地域の拠点があり、拠点にはコーディネーターチームを編成し、イベントの企画や人を集める仕掛けを考え、若者から高齢者まで、情報発信と共有が図られるような取組みが進む町。



## 拠点(施設・空地)

**視点1**  
地域拠点  
と空地活用

〔視点1 地域拠点と空地活用〕  
1-②

「長房みんなの広場」  
(施設統合でできた空地进行公園やグラウンドに)

商業施設の交流コーディネーター  
もう行っていると思うが、商業施設の広場をお借りしてプラスバンドをしたら、子供・親・地域の交流が生まれる

〔視点1 地域拠点と空地活用〕  
1-①

「長房カフェ」  
(長房開発の交流施設活用)

子供の事

学校で道徳教育の時間を増やし「実践的に、例えば挨拶、言葉遣い等々」これは親子さんに対しても！！

★南団地

★交番の裏空地が増える！  
(管理は？行政？住民？)

子供、親、地域の交流  
八王子は名所旧跡とかお寺が多いので、親子で名所旧跡、お寺めぐり

かるた取り

時代ものの100人が詠んだ和歌を一首ずつ集めたもの「百人一首」

あき地や元々の場の活用

・長房小学校の場合、子供と地域との交流はお手本になる  
・あき地を畑として借り受け、子供、先生、地域が交わり野菜作りなど、とても楽しい

以前行ったイベントで大好評だった浅川の河川敷で仮想のお店、仮想のお金で買い物

自治会員も高齢化しておりますが、元気な方は何か人のお役に立てる事があれば参加しようと思っっているので地域子供の交流は企画を立てれば大いに参加する

交流サロンは引きこもり、孤独者をなくす、絶好の場ミニサロンでも良いのでどんどん開いてほしい

南団地を長房中学校区へ編入都営団地4自治会一つに

★課題

広場にトイレが少ない！  
管理の問題がある！

集いの場

空地遊園地が少ない(子供の遊び場が少ない)

アルプス・カインズと大災害時の避難場所として契約の締結

## コーディネート

**視点2**

コーディネーターチーム

人集め

〔視点2コーディネーターチーム〕  
2-①

行政と地域からのチーム構成

〔視点2コーディネーターチーム〕  
2-②

コーディネーター会議を定期開催

〔視点2コーディネーターチーム〕  
2-③

地域拠点に交代でコーディネーター常駐

親子で何かを作成するイベント  
例えば「竹トンボ、風車」など  
コーディネーターを呼んで

## 情報と共有

**視点3**

情報発信と共有

〔視点3 情報発信と共有〕  
3-①

多年代でチーム構成

〔視点3 情報発信と共有〕  
3-②

紙ベース情報は既存活用

〔視点3 情報発信と共有〕  
3-③

Web発信の主任は若手に！

若い人の参加  
★SNS活用  
★アンケートの実施で理解してもらう  
★高齢者向けにスマホの指導してもらう

自治会員の発信・情報発信の仕方  
・個人情報保護法があるので行政も発信が難しいと思うが  
・自治会員の言葉に耳を傾け自治会員の考えを取り上げる

SNS

若者→高齢者へ

若い力

SNS活用

## 内容の工夫 テーマづくり

商業施設  
防災拠点へ

活動のテーマ

長房ファーム

子どもたちに

継続してもらえる工夫

南団地の長房地区に統合

ホテル  
↑  
ナイトウォーク  
↑  
まち歩き

調理  
食事

〈テーマ〉  
ディスクゴルフ

百人一首サロンに子どもたちの参加

囲碁将棋

プラスバンド

吹矢  
お手玉